雪の絵本

神沢利一

神沢利子（かんざわとしこ）　児童文学者。文化学院文学部卒業。
主な著書『ちびっこカムのぼうけん』『いたずらラッコのロッコ』『くまの子ウーフ』など。

雪の絵本　検印省略　定価六八〇円

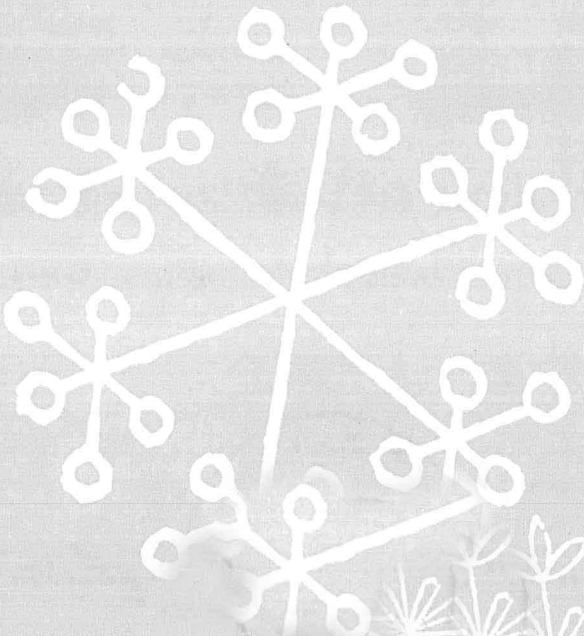
昭和四十六年　二月　十五日　第一版発行

著者　神沢利子
発行者　竹内静江
発行所　三笠書房
〒162　東京都新宿区戸山町三五
電話東京(二〇三)七七八一　八代
振替　東京　二二〇九六

日本製版・宮田製本〔0095-001027-8936〕
© Toshiko Kanzawa, Printed in Japan 1971
乱丁・落丁のものはお取替えいたします

雪の絵本

神沢利子



三笠書房

雪の絵本　目次

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.c

雪のおとずれ——序にかえて 11

雪のうた 15

幼い日のうた 17

ひとわんの雪 22

雪の来る日 29

わらべうたの雪 35

雪虫 48

小正月の子どもの行事 52

雪のものがたり 59

雪女 61

つらら女房 68
笠地蔵 73
オデアシコ吹雪 78
大雪豊作 84
雪むすめ 89
星のひとみ 98
楢山の雪 106
雪と清少納言 119
天からの手紙 129
天からの手紙 131
雪さまざま 136

雪の保温　139
つめたくない雪　141
雪占い　143
雪売り　147
雪だるま　149
雪うさぎ　156
雪の中のどさんこ　160
初雪おこし　163
雪割草　167
雪の下のお日さま　170
雪の殿さま　174
裏日本の雪　179

わたしの雪 189
北国の小学校 191
金色熊 199
二・二六のころ 206
凍蝶 221
雪の絵本 229
ゆきがくる 231
山の首領 243
ゆきのなかの白い白いうさぎたち 257
そり 266
あとがき 275

装幀・イラストの雪模様は土井利位『正続雪華図説』による

雪の絵本

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.c

雪のおとずれ——序にかえて

もう
雪コ　降るべな
岩木山さ
そへば
おらどこさも
雪コ　降るべな

これは津軽の子どもの詩ですけれど、この山を、磐梯山に、安達太郎山に、また、富士山に、八ヶ岳にと、山の名を変え、その土地のことばに変えていう

ならば、どこの町、どこの村にも通じる詩のようです。

関東にくらしているあいだは富士の峰の白さに冬を知り、関西でくらしていた日は、六甲の峰のかがやく白さに、冬の訪れを知りました。

冬は山からやって来ました。雪とともに。

おなじ、天から降るものなのに、雨と雪ではうけとる感じがまるでちがうのはなぜでしょう。

草は枯れ、木はその葉をおとして、その木のいのちだけのすがたになって、ひたすら、天を指して立っている冬。

雪は、はるかな天の極みから、賜(たまもの)のように舞いおりてきます。

初雪は序曲の如く降りて止む　　くさぬ

序曲のごとくに降りくる雪も、一夜のうちに外界を純白に変えてしまう雪も、初雪のおとずれは、地上のひとの心にふしぎな感動をよびさますようです。

ふつう初雪は、軽井沢で十一月十六日、東京で十二月二十六日、鹿児島では

一月八日となっています。暦では小雪が十一月二十三日ごろ、大雪が十二月八日ごろです。

北海道でくらしたことのある年よりたちは、「十一月の三日にはかならず初雪が降った。」と語ります。

「明治天皇さまのお誕生日だから、それをことほいで雪が降ったのだ。」

そう信じている明治生まれのお年よりたち。

太鼓をたたいて黒雲にのって地上に雨を降らせる雷さまのイメージは、あざやかですけれど、雪を降らせるのはいったいだれなのでしょう。

宮沢賢治の童話『水仙月の四日』には、雪狼や雪童子を追いたて、風のなかを駆けめぐる雪婆んごが登場します。

「降らすんだよ。降らすんだよ。ひゅうひゅう。」

雪婆んごは皮の鞭をぱちぱち鳴らして雪を降らせます。この童話は雪婆んごや雪童子や雪狼の伝説にもとづきながら、独自な一篇を作りあげているといわれていますが、これら雪狼や雪童子の登場するはなしを、わたしはまったくきいたことがありません。あるいはこれは山姥——小正月に雪女が童子をつれて

雪遊びするという、それの変形であるのかもしれません。

同じ天から降る雪でも、山に降る雪、里に降る雪とでは、それぞれに味わいがちがいます。

町を走る貨車、駅の構内にとまっている貨車につもった雪は、まだ雪のおとずれを見ぬ都会のひとの旅情をさそい、町へでてきた若ものたち、集団就職の少年少女たちに、故郷をなつかしませます。

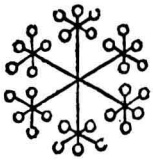
おどるようにはずみながら雪が降る午後、あなたがさしかけた傘は、あのひととの初めての出会いをもたらし、そしてまた、あの山の雪は若い山男たちのいのちを奪い……

雪は死者をまつる祭壇の白。

雪は花嫁のかぶるレースの、花嫁のきるウェディングドレスの白。

あなたの持つうつくしい雪のおもいでのなかに、この小さな物語りのどれかひとつでも、加わることができますように——

雪のうた



此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.c